

有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター (JPCERT/CC)

ごあいさつ

近年の情報処理技術の革新とネットワークの普及は、大学や研究機関、産業界のみに留まらず、社会・個人生活に至るあらゆる分野に高度な情報化をもたらしたと同時に、社会全体を情報通信システムに依存させたと言えます。

このような状況で、コンピュータセキュリティインシデントが、国境、組織やドメインにまたがって発生し、情報通信システムを運用不能にした場合、深刻な社会問題を引き起こすことが懸念されます。そのため、コンピュータセキュリティインシデント対応チーム CSIRT(Computer Security Incident Response Team)には、国や組織が異なる関係者と、密にインシデント情報や統計情報の交換を行い、不正なシステム侵入等のインシデント行為に対応するための、さらには、インシデント防御策を導くための迅速な情報分析を進めることが求められています。

JPCERT コーディネーションセンター(JPCERT/CC)は、セキュリティインシデント報告に対応するほか、日本のコンタクトポイントとなる National CSIRT(コンピュータセキュリティインシデント対応チーム)として、国内外のコンピュータセキュリティインシデント情報のコーディネーションを行っています。また、アジア太平洋地域において、最も長い活動履歴を持つコンピュータインシデント対応チームの一つとして、CSIRT 情報交換網の構築、CSIRT 設立支援活動等を通し、広域に被害を及ぼすコンピュータセキュリティインシデントの被害レベルを最小限に抑える対策を実施しています。

当センターの活動をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

JPCERT/CC

代表理事 山口 英

情報提供の依頼と報告様式について

コンピュータセキュリティインシデントに関する情報がありましたら、JPCERT/CC までご提供下さいますようお願い申し上げます。JPCERT/CC では、お寄せ頂いた情報をもとにインシデントの発生状況を把握し、広域に被害を及ぼす可能性のあるインシデントの拡大阻止、再発の防止などを目的とした情報発信を行うことができると考えています。

JPCERT/CC の所定の様式

<http://www.jpcert.or.jp/form/>

にご記載のうえ、関連するログ情報とともに、info@jpcert.or.jp までお送り下さい。

なお、ご報告者の了解なしに、提供頂いた情報をそのまま他組織などに開示することはございません。

JPCERT/CC 組織概要

社 名: 有限責任中間法人 JPCERT コーディネーションセンター (略称 JPCERT/CC)

英文表記: Japan Computer Emergency Response Team Coordination Center

法 人 化: 2003 年 (平成 15 年) 3 月 18 日

代 表 者: 代表理事 山口 英

役 員: 理事 歌代 和正、佐野 晋、鈴木 裕信、真鍋 敬士

事業内容:

1. コンピュータセキュリティに関わる事象(以下、インシデント)への対応
2. 国内外のインシデント対応組織、関連する組織等との連携
3. 国内外インシデント対応組織の立ち上げ支援・指導
4. インシデントに関する事例解析や、関連するセキュリティ修正プログラム等の情報、システムの脆弱性に関する情報など、コンピュータセキュリティに関する各種情報の収集、整理及び蓄積並びに提供
5. コンピュータセキュリティインシデントに関する調査の受託業務
6. 関連技術等の調査・研究
7. 関連技術の普及・啓発、教育事業

所 在 地: 東京都千代田区

沿 革: 1992 年	ボランティアベースの活動開始 コンピュータセキュリティインシデント報告対応業務開始
1996 年 10 月	任意団体 コンピュータ緊急対応センター(JPCERT/CC)発足 コンピュータセキュリティ関連情報発信開始
1998 年 8 月	国際 CSIRT フォーラム FIRST 加盟 (日本から初メンバー)
2002 年 2 月	APSIRC(アジア太平洋セキュリティインシデント対応会議)開催開始
2003 年 2 月	APCERT(アジア太平洋コンピュータ緊急対応チーム)フォーラム発足
2003 年 3 月	任意団体から中間法人格取得

